

そくほう  
速報

# 東京地下鉄(株) 人事部総合研修訓練センター

東京メトロ流 部門横断訓練を学ぶ

安心、安全を実現するために 東京メトロでは 学ぶために「現場」と「心」を用意しています



## 東京メトロの「現場」を再現した訓練施設

従来の訓練は、営業終了後の夜中や車庫線で行っており、**時間・場所の制約があった**。事故の対処は 部門を超えた協力が必要だが合同訓練の「場」がなかった。そこで、**東京メトロのあらゆる現場を再現した「総合訓練施設」を開設**。見学会では、実際の訓練の様子を体感できた。

## 総合研修訓練センターの設備



新木場 車両基地に  
2016年 開設

B1 10両ホーム →

A2 訓練棟 →  
1Fは 模擬駅

B2 模擬トンネル ↑

地図データ ©2019 Google, ZENRIN

**A1 技術実習線**  
電車の運行を気にせずレールや架線交換を実習できる

**A2 訓練棟 1Fは模擬駅**  
運転シミュレータや教室  
模擬駅で各種訓練を行う

**B1 10両ホーム**  
実際のホーム長を再現し、駆け込み乗車の見づらさを体感

**B2 模擬トンネル(運転実習線)**  
地下を想定し 車両を走行させる訓練や土木・保線・電気系 訓練

## 信号教室での訓練見学

全てが電子化されている中、その頼りの電力がない状況下で、駅で列車の進路を人間が人足で切り替えるスイッチ(テコ)の実技研修を見学した。  
(社内資格 取得の研修)

いかなる場面も想定して訓練しなければ、真の訓練にはならないことを学んだ。

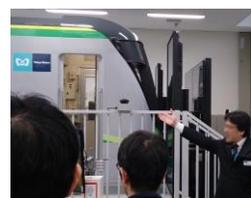


教室の外にも聞こえるほどの**大声**で、**真剣な訓練**でした

## シミュレータの訓練



実際の訓練車両では困難な、自然災害 事故・故障がプログラムされ、遠隔スイッチで再現し、**事故発生時の初期対応を訓練**する。



## 部門横断訓練

初期対応後の状況を想定している。**路線の各部門が集結し部門横断**で車両トラブル等の訓練をする。  
8路線で各2回 年間で 計16回実施。

車両火災の訓練をしていました



## 安全繫想館と「心」

事故の状況写真や損傷品が現物展示されており、机上教育ではなく、3現主義のもと、重大事故を風化させないように、全社員が2年に1回訪れて教育を受ける。

## 最後に

事故防止や復旧時間を短縮すべくホンモノの施設で部門横断で本気で訓練していました。今回の見学で東京メトロの高い志に触れました。見学させていただき、ありがとうございました。